

「思いは見えないけれど、思いやりは見える」

おはようございます。昨日、畑でオオイヌノフグリが咲いていました。春が近づいてきています。

今日は、詩を読みます。

「行為の意味」 宮澤章二

あなたの「こころ」はどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない

自分にも 他人にも「こころ」は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど 「こころづかい」は見えるのだ。

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない けれど 「思いやり」はだれにでも見える。

それも 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ

皆さんの心の中には、だれもが温かい思いやりの心があります。いつも見えているものではありません。しかし、言葉かけ一つで心づかいが見えることがあります。言葉かけが苦手な人は、笑顔を見せるだけでも思いやりは、伝わります。そっと手伝う、黙ってそばにいてあげる・・・

小さな行為ですが、あたたかな心づかいが伝わります。

「心は見えないけれど、「心づかい」は見える。思いは見えないけれど「思いやり」は、見える。」

短い言葉ですが、この言葉を忘れずに行動することができたならば、周りの人たちも温かい気持ちになれると思います。そんな人たちが一人でも増える玉堤小学校になってくれるとうれしいです。